

しんあい

季刊

2021年(令和3年)1月1日発行 第116号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<https://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい!



2021年も、笑顔があふれる1年になりますように! (しらとり)

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
- ・府中市地域包括支援センター泉苑

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・府中市地域包括支援センター緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市地域包括支援センターあさひ苑
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・高齢者あんしんセンター神田
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ
相談センター

児童福祉

- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ **社会福祉法人を考える7**
～母子生活支援施設とは～
(2)入所母子家庭の特徴

◆ **私の施設の自慢の職員**
PART2

◆ **施設だより**
「2021年への期待」

社会福祉法人を考える 6

～母子生活支援とは～ (2) 入所母子家庭の特徴

2 入所母子家庭の特徴

(1) 母子家庭になった理由 (表1, 2)

児童福祉法という母子家庭は、昭和年代はおおよそ40万世帯前後でした。平成時代になる前後から50万世帯台になり、平成10年代では60万世帯、20年代には65万～70万世帯に増えています。

表1, 2で母子家庭になった理由を見ると、昭和50年前後までは戦争被害や病死による死別が多かったのですが、それ以後は離婚や未婚など、現在ではほとんど生別家庭になっています。これは母子家庭全体の傾向ですが、表2によって母子生活支援施設に入所した母子家庭で見ると、生別が半数を超えるのは、全体より早く昭和30年代になっています。死別による母子家庭より、離婚や未婚、遺棄などによる母子家庭の方が、生活の上での困難がより大きいことを示しています。

(2) 母子生活支援施設に入所した理由、背景 (表3, 4, 5)

まず表3で全国の傾向を見ると、昭和時代までは経済事情や住宅困難など広く生活難が中心でした。その後徐々に「夫の暴力」(DV)が増え、平成10年代には入所理由の3割台を占め、最近では6割弱にまで達しています。それに比べて、生活難も平成10年代頃までは4割くらいで少なくともは「夫の暴力」が増えるにつれて減少し、平成30年では生活難は4分の1程度になっています。さらに平成時代になると(ここには数字を示す表はないのですが)、全国では母の心身の障害などが増え、最近では3割近くに、生活難をより深刻にしています。また外国籍の母親の増加も目立ってきてきています。現代の社会では生活しづらい状況にある母子家庭が増加しているのです。

これを多摩同胞会のきずな、白鳥寮の2施設で見ると(表4, 5)と、現れ方に多少の年代差は見えますが、概ね昭和時代は生活難による入所、次第に「夫の暴力」が増え、平成の時代によく似ています。白鳥寮で「夫の暴力」が他よりも少ない状況を示しています。きずな、白鳥寮でも、全国施設と同様、心身に障害のある方、外国籍の方が増えています。

(3) 施設入所の期間など (表6, 7)

現在の社会では、母子・単親家庭が就業、住宅確保など生活維持の面で不和が多いのですが、(2)で見たとように「夫の暴力」により家庭崩壊や心身の障害など生活自立の上で大変な困難がある状態で施設に入所される場合が多く、施設で時間をかけて家族の生活力を高める支援が必要ですが、しかし表6, 7で見ると、2年未満が6～7割の入所期間は短くなっています。最近では、2年未満が6～7割になっているとも言えます。生活再生の支援を受ける上での問題点が示されているとさえそうです。

多摩同胞会 母子生活支援施設

表4 きずな 新入所世帯の入所理由 (新人, 5年間合算)

	夫の暴力	住宅困難	生活困難	離婚	未婚	その他	合計
昭和55	0	0	0	47.8	8.5	0	23
55～60	32.8	27.9	4.9	53.4	13.3	20.0	58
61～平2	35.2	25.9	18.5			11.1	92
3～7	61.2	20.9	4.4			8.9	4.5
8～12	47.5	24.6	2.2			3.2	16.4
13～17	63.3	25.2	8.2			4.4	7.8
18～22	71.9	9.4	0			10.9	7.8
23～27	87.1	5.7	0			5.7	1.4
28～							7.0

表5 白鳥寮 新入所世帯の入所理由 (新人, 5年間合算)

	夫の暴力	住宅困難	生活困難	離婚	未婚	その他	合計
昭和55	21.0	10.5				15.8	19
56～60	30	33.3				18.2	33
61～平2	40.0	15.0	12.5			2.5	5.0
3～7	9.3	39.5	9.3	16.3		9.3	16.3
8～12	39.5	31.6	10.5			2.6	15.8
13～17	28.6	44.9	6.1			10.2	10.2
18～22	50.9	30.2				15.1	4.0
23～27	67.3	10.9				10.9	11.0
28～	83.7	11.6				4.7	0

表3 母子生活支援施設への入所理由

	夫の暴力	児童虐待	不適切な養育環境	住宅困難	経済事情	母の心身不安	職業の問題
昭和42	4.9	6.2	19.0	37.1		9.6	
平成元	()	34.2	20.6	26.7		9.4	3.8
12	33.5	12.4	23.0	22.6		4.1	
22	43.2	1.1	8.9	23.5	15.5	2.9	0.5
30	55.6	1.7	8.6	16.3	11.1	3.1	0.2

【全国母子養育調査】(全母協)

3回にわたって、多摩同胞会の原点として、1946年(昭和21年)から継続してきた母子寮、母子生活支援施設について、歩みや今日の役割などについて考える、第2回目です。

業務執行理事(母子担当) 小笠原 祐次

3 母子家庭の生活課題の変化から、ケア課題を考える

これまで見てきたように、入所母子家庭の理由、入所理由は変化してきました。それと共に、求められる支援も変化してきました。

戦後は戦死などによる死別家庭が多く、住むところがない、収入がないといった生活上の課題から、保護し住む場所を提供し、就業を応援することが「母子寮」の主な機能とされてきました。

生別家庭が増える昭和30年代より入所母子家庭の相も変化し、その生活上の困難も変化してきました。特に昭和40年代に入ってからその質的变化は顕著になったと言われています。具体的には、表3, 4, 5にあるような入所理由にみられる困難だけでなく、それと共に母親の心身の障がいや病氣、就業に関する困難さ、金銭管理、生活管理、養育に関する困難さ、また、子ども自身の障害や学校生活、生活習慣上の課題、父親との関係の問題等をあわせ持つ家庭が見られるようになってきました。また、昭和60年代からは、夫からの暴力(DV)による入所が増え、(表4:現在きずなでは全国調査より多約9割)、その影響は母親にとっても、子どもにとっても、心理的に不安定になるといった影響があり、生活への影響も大きいものがあります。

母子生活支援施設(母子寮)では、計画を立てながら支援をしていますが、これらの困難をどうして抱えるようになったのか、それまでのその母と子の歩みを理解しながら、現在の困難との関連を探っていく、どのように支援をしていくのかを考え取り組んでいきます。

このような生活困難の質的变化は、いわば多様化といえるもので、母子生活支援施設のケア(支援)は利用者の多様な困難性に対応を求められるものになっています。ここでは、専門的な知識・技術をもった支援者による高度なソーシャルワークが求められています。一概ではない母と子の抱える困難に対し、その背景を理解し、ひとりひとりに寄り添った言葉かけや方法で働きかけ、必要な社会資源を探しだし活用しながら、そして職員自身が社会資源のひとつとなりながら支援を行っています。

当法人では、施設合同の研修を企画し、これまでも精神障がいについてやカウンセリング技法、子どもの発達などをテーマにして開催したり、現在も助言者を招いての事例検討会を開くなど、スキルアップに取り組んでいます。

今後は、多様化への対応だけでなく、社会的養護の施設としてさらに母子の関係性に着目した支援が求められるのではないかと考えています。

(たちまちセンター長 寺嶋恵美)

表6 全国母子生活支援施設の退所世帯の入所していた期間

	1年未満	2年未満	3年未満	3年以上	合計
昭和53年	23.3	17.9	15.3	43.5	
60年	31.1	19.1	14.3	35.4	1732
63年	32.2	15.4	12.3	40.1	1751
平6年	31.4	16.0	12.7	39.9	1583
12年	36.1	17.6	12.9	33.5	1811
18年	37.9	23.1	13.8	25.2	1944
30年	29.7	27.4	19.5	23.2	1760

昭和53年 全国母子養育調査(全母協)

昭和60年～平成30年「全国社会福祉施設等調査」(厚労省)

表7 きずな、白鳥寮の退所世帯の入所していた期間(5年間の平均)(%)

	1年未満	2年未満	3年未満	3年以上	合計
昭和42～63年	31.3	19.4	12.9	36.3	201
平元年～6年	32.1	19.4	12.9	32.1	53
7～12年	41.3	21.3	15.0	22.5	80
13～17年	21.7	16.7	25.0	36.7	60
18～22年	36.9	27.1	17.5	18.4	103
23～27年	43.8	26.5	28.1	1.6	64
28～31年	29.4	51.0	13.7	5.9	51
					33.3
					40.5
					0
					4.2

(表4, 5, 7)は、多摩同胞会 各年度「事業報告」による

かんぽ連雀の自慢の職員

木村 隆秀さん
(特養4階主任・介護福祉士)



木村さんは楽しく仕事をしたいというのがモットーなので、木村さんが働けるだけでなく、ご利用者や他の職員も明るくなら、フロア全体が良い雰囲気になっていきます。

また色々な事も気軽に相談できる頼れる先輩的存在です。常に周囲に気を配り、ご利用者のお話しもきちんと聞いてあげています。私も木村さんのような介護職員になりたいです。
(4階特養 伊藤裕太)

木村さんよりひとこと
ご利用者と接する上で一番気を付けていることは、「自分がされて嫌だと感じることには人にはやらない」ということです。ただし、その方によって嫌なことはそれぞれ違うので、ご利用者の日々の生活をきちんと知って、実際にお話しして判断していきます。

ちから多磨の自慢の職員

左から
志水 多恵子さん 佐藤 ハルエさん 桑野 若枝さん
(管理者・介護福祉士) (介護福祉士) (介護福祉士)



多摩同協会ホームヘルプサービス(あざひ苑、泉苑、そして現在(は)はらら多磨)を四半世紀以上にわたって支えているスーパーディーズです。

今年度からは佐藤さんが高齢者住宅のコーディネーターとして建物内外共に、陣々までピカピカにしています。西側には福理理事と一緒に野菜園を耕作し、夏にはグリーンカーテンとして栽培したゴーヤがたかたかさん実り、入居者の皆さんへ美味しくいただきました。3人が腰かけている花壇も、来春に向けてチューリップの球根が植え込まれました。今から着が楽しみです。これからも、元気いっぱい「はらら多磨レディーズ」咲き続けたいです。
(地域支援部担当責任者 清野智男)

佐藤さんよりひとこと
高齢者住宅(はらら多磨)に、穏やかな日差しに映える建屋(府中市高齢者住宅(はらら多磨))があります。丹精込めて植え込んだ野菜や花壇の花を愛で、一度遊びに行っちゃってください。

わたしの施設の自慢の職員 PART2

113号につづいて「わたしの施設の自慢の職員」をご紹介します。今回は各職場のプロ中のプロの正職員です。正職員の平均勤続年数は11.4年。積み重ねたキャリアによりひとりひとりがその力を発揮しています。それぞれの職場で、職種ごとの専門性を活かして、ご利用者へのサービス向上に努めています。

泉苑の自慢の職員

片淵 誠さん
(居宅介護支援事業部長・主任介護支援専門員)

居宅管理業務と約25人のケアマネジメントを担当し、困難ケースも所などとも連携を図り、人脈の厚い人柄です。話しやすく困った時には相談しやすく、適切なアドバイスを即答されます。

率先して運けてくれます。行政・病院、包括支援センター・介護事業所などとも連携を図り、人脈の厚い人柄です。話しやすく困った時には相談しやすく、適切なアドバイスを即答されます。



片淵さんよりひとこと
ケアマネジャーとして、ご利用者の状態、ご家族の状況に合わせてサービスを提供や調整、ケアプランの作成等を行い、住み慣れたご自宅での生活を続けられるよう法令を遵守し支援します。

ご利用者の生活上のリスク軽減、家族様との介護負担の軽減を図り、新施設が円滑に送られるよう必要に応じて施設入所・入院など提案しています。

若本町ほほえみプラザの自慢の職員

三浦 明日香さん
(通所介護担当・介護福祉士)

三浦さんは女性ならではの柔らかさや笑顔がとても素敵で、ご利用者の対応でもいつも感じさせてくれます。なかなかお風呂に誘うのが難しい方でも、話をしているうちに「じゃあ行こうか」といつの間にか浴室までお連れしていることをよく見かけます。

三浦さんの気持ちでご利用者にももっと寄り添ってほしいです。三浦さん自身も身体も大きく、対面に戸惑う事もありません。ご利用者から「慣れにくるまでは怖い方だと思っていたわ」と言われることもありますが、それは見習いたいと思います。
(通所介護 松本幸二郎)

三浦さんよりひとこと
私は、認知症対応型通所介護のほほえみ☆クラブを担当しています。少人数のクラブなのでのんびりお話をしたり、ゲームや体操、おやつ作りやお茶を点てたりしています。ほほえみ☆クラブのご利用者は個性が強く、対面に戸惑う事もありません。ご利用者の向かいのかけあがり、落ち着いた態度でゆっくりと寄り添えることを心掛けています。やはり、人間同士ですから、始めは難しい方だとも思うこともありますが、時間をかけて接していくうちに、「あなたが好きよ」「あなたならいいわ。」など言われることも安心します。



あざひの自慢の職員

橋場 文彦さん
(食事係リーダー・調理師)

食事と言えば、彩、香り、味。橋場さんの作る照り焼きは、天下一品です。味もさることながら、照り焼きの付けかたが素晴らしいです。真動した道後に、あざひランチを利用している職員から「美味しくなったね。」とお褒めの言葉を頂いたほどです。

和度も美味しいのですが、洋食も美味しいです。特にコンソメスープはトゲのない優しい味で、隠し味やワンポイントを覚えてもらったほどです。

橋場さんを見習い、美味しいお食事を提供していきたいと思っています。
(調理師 田中 愛)

橋場さんよりひとこと
今年度、初めての運動を経験しました。施設によってサービス内容が違うので、最初の内は戸惑いながらも取り組んでいました。ただご利用者に毎日美味しい食事をつくることや、季節を感じられる食事をつくる事はどの施設でも同じです。

これからはその思いを忘れずに食事を作ってまいります。



緑苑の自慢の職員

齋藤 赤子さん
(養護支援員リーダー・介護福祉士)

子育て真っ最中の彼女。養護老人ホーム信愛寮のリーダーです。家に帰れば妻であり2児の母です。家事も大変だと思いつつが一支隊員として早番業務・選考業務もなし、リーダー業務として毎月の業務計画(スケジュール)も組み立てています。

また、信愛寮のご利用者もADLの低下が顕著で、なかなか買い物も出来ず、今年度から毎月1日宅配買物日を設け、ご利用者の御用向きをして十数名分の買い物物も一手に引き受けています。

毎日明るく元気に業務に取り組み、時には支援員の相談を受けたり、ご利用者の相談にも前向きに対応し信頼もとても高いリーダーです。
(生活相談員 平岡真弘)

齋藤さんよりひとこと
緑苑に就職して、もうすぐ18年になります。四季の移り変わり、また時代の移り変わりを、いつも緑苑のご利用者や職員と共に過ごして自身の思い出としても刻んでいます。

「今日もよろしくね」と声をかけてくださるご利用者に囲まれ、自分のことを誇ってうれしく感じる人がいることに幸せを感じながら、自身も誰かの居場所になったいだけだと思っています。



施設 дайい



2021年への期待



新型コロナウイルス感染症が早く収束して欲しい願いを込めて、各施設より2021年に期待する、力を入れるメッセージをお届けします。

泉苑

捨てるものにも感謝

泉苑は昭和50年に開設され設立45年です。45年…ほぼ半世紀ですね、使われている物品も年代物も多くあります。年を越えるこの時期、ご利用者の生活の場とも見える車椅子を廃棄し、清々しく年を越すため準備をしております。

今回は、入所されるご利用者のため倉庫に眠っていた車椅子を整備・掃除しました。いやあ、タイヤが割れるほど使われている車椅子…時代を感じます。流石に45年物の車椅子ではありませんが、捨てるか修理するか皆さんならどうします？

法人の基本方針に「水・電気などの資源を大切にします」とあります。資源を大切に!! 物を大切に!! タイヤを替えば使えます。修理しましょう。

よく見たら多くはタイヤが割れたり、タイヤが緩んだり、花かた…倉庫に眠っていたから刃とも悪い!! 洗って、干して、タイヤを替えてボルトを締め直して調整して…は、出来上がりです。

これで新しいご利用者も清々しく過ごせると思います。古い車椅子を廃棄するのは嫌ですものね。

倉庫にはまだ使われていない車椅子があります。長い年を迎えるため断捨離し掃除も行っております。物を大切にすることも必要ですが、物を捨てる整理することも必要です。

機能訓練担当
(作業療法士)
坂田 淳



たっち

笑顔あふれるひろば



現在私たちの交流ひろばは感染防止対策を行いながらの開催となっております。ひろばを利用する方々が安心して遊んでいただけるよう、入館前に検温と手指の消毒のお願いをしています。

その際にお子さん達の様々な姿に出会うことがあります。検温のため、慣れた様子で「はいっ」と言ってお子を出してくるお子さんや、消毒容器に手を出して待つというお子さん、自分の爪を舐めて「すりすり」と言ってお子で消毒してくれるお子さんもいます。中には弟や妹の手を取り、「消毒するんだな」と手伝ってくれるお兄さん、お姉さんの姿もあり、とても微笑ましく感じます。

また感染防止対策として、おもちゃの貸出しの際には、その都度消毒を行っています。「そのままじゃいいから」とお返事をしてくれるお子さんも多く、喜んでお返さる姿もたくさんあります。

少しづつはやく感染症が落ち着き、今までのようにご利用していただければ、心より願っています。そのために、新年も感染防止対策を続け、ひろばを利用するお子さんとそのご家族が安心・安全に過ごして笑顔で遊んでいただけるよう、試行錯誤と取り組んでまいります。新年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域支援ワーカー(社会福祉士) 宮城 朝日

きずなの自慢の職員

長谷川 美沙さん
(保育担当・保育士)

いつも笑顔で明るく、周りにも笑顔にする力があります。きずなの保育児のほとんどは地域の保育園に通っているため、みんな保育園から帰ってくる「はせがわんせー」と言ってきた保育園であったこと等お話ししています。絵がとても上手で、子どもたちは手が好きでキャラクターをかわいてもらおうと、列をつくることもあります。お母さん方からの信頼もあつて、子育ての悩みや相談を受けることも多いです。

(母子支援員 高橋風子)

長谷川さんよひりひと言、保育では、「子どもと待つこと。」と言われないよ、うこみ掛けています。出来る限りその場に対応したいと思っておりますが、どうしても難しい時もあります。そのような時はどんなに小さな子どもでもきちんと説明し、用事が済んだ後必ずフォローを入れるようにしています。毎日のやり取りの中で些細なことでも、子どもたちは「受け入れてもらった。」という経験になるのでは、ないかな、と思っております。



事務局の自慢の職員

香織さん
(事務員・社会福祉士)

事務局職員は全員が経理のプロ、庶務のプロですが、2020年度に事務局が重点的に取り組んでいるのが広報の強化です。全員が1月1日はFacebookに記事を書くことを目指し、日記誌を探索しています。そして広報活動を支えるプロフェッショナルが好評です。

経理・庶務業務を行いながら、各施設の担当者から届くアンケート利用履歴を入手し、法人のFacebookやInstagramを更新する際には他法人のSNSを研究したうえで、採用試験や法人説明会の案内や写真をカラフルに加工し、適切なタグ付け等、工夫を重ねていきます。また各施設のホームページ担当者やSNS更新担当者からの質問や相談についても笑顔で対応させていただきます。

(事務部長 青木志乃)

井原さんよひりひと言、施設の広報担当者は現場で忙しい職員も多いため、少しでも私に出来ることはお手伝いできればいいなと思っております。

法人の広報に関わっていく中で多岐回廊にはなくさんの魅力があるのに、なかなか表に出ないことをもどかしく思っていました。各施設FacebookページやInstagramを開発し伝える機会を増やしました。フォローさんも増えてきています。これからはもっとたくさんの方々に多摩同協会を知ってもらえるよう、頑張っていきたいと思っております。



たっちの自慢の職員

田澤 夢織さん
(地域支援ワーカー・社会福祉士)

田澤さんは、総合窓口でいつも明るく元気な利用者に利用者を迎えます。「こんにちは」とさわやかに挨拶をし、ときどきご案内をしながら、大人にも子どもにも親しみのある声かけを気遣い、初めて来館される方々の緊張を瞬間でほぐし、やさしい仕上がりなので、他部署からも依頼がたくわん来ています。利用者さんだけでなく職員の方々の心もつかみ、たっち自慢の看板娘です。

(相談員 伊藤善美)

田澤さんよひりひと言、総合受付で来館された方に、利用の案内やお問い合わせにお返事をしています。初めてたっち遊びに来られたお母さんや子どもさんとお話しさせていただくことも多いので、「ゆっくりに丁寧に」を心がけています。季節の移り変わりや動物などの装飾を作り、飾っています。



いらとりの自慢の職員

宮田 貴之さん
(児童指導員・保育士)

いらとりの自慢の職員、児童指導員の宮田さんです。子ども達からは「たっちちゃん」と呼ばれていますが、宮田さんの人柄は真面目で誠実。それは子どもと接する時も変わりません。彼の学童でおやつ作りを始めた当初、料理経験がなかった宮田さん、パンケーキは膨らまず、フルーチェは固まらない…。子ども達から「今日のおやつ、たっちちゃんか…」と言われてもへたれず、真面目に研究と練習を重ねていきました。その一歩が実を結び、今では宮田さんのつくった「たっちちゃん」は子ども達の大好きなメニューになり、パンケーキも膨らむようになりました。まずは大人が失敗し挑戦し続ける姿を見せる事も大切な経験であると思います。

(児童指導員 吉田智咲)

宮田さんよひりひと言、パンケーキが膨らむようになつた宮田さんです。様々な背景を持って入所する子どもたちの中には、新しいことをやってみるというところが苦手な子どもも少なくありません。失敗するかもしれないこと、大人でもたっちちゃんも失敗するよ、はしめの一歩を少しづつでも楽しんでみることが出来るよう丁寧な支援ができればいいと思います。新しいこと、子どもも楽しい笑顔をみることが出来ます。色々なことを一緒に楽しむ工夫を子どもたちと一緒に探していきたいと思っております。



連雀

新しい生活様式での安心、安全

去年までは戸外での面会し、散歩し、時には外食や外泊していた普通生活が新型コロナウイルス感染症の流行に伴い一変し、ほとんど事業室を、WEB（ZOOM）を使用し木下リネアにも面会を実施してまわ。

A様はご家族と定期的にZOOM面会し、相談員が一緒にお手伝いさせていただく中で、「若いころはパソコンがとろとろで、今はお題を自分で分けて配分しては資料を作っていたことも。」「だから今回もなくてもお肌つやつやですね。」と今まで知らなかった新たな一面に立ち会えます。

生活様式が変化化する中、その時々ある事、ICTを活用することで、ご利用者の安全を守りながらの面会を実施する時、コロナに気づき安心して暮らされるよう支援していくことが私たちの務めであること再確認しました。



生活相談員 (介護福祉士) 中村 小夜子

岩本町

ことばを大切に

言葉は、勇気や固執りや人生に大きく影響を与えます。ある日トコエ「返返した」と聞いた翌週は、スツキウと仕事を始められるように、日々の生活にハリをわたらうとくれます。

2020年やじ入り、新しい10年がスタートをしたとたん、新型コロナウイルス感染拡大により、世界中の人々が恐れおのけられることに胸を躍らせたトコエも、その影響で中止となり、国内においても、移動制限や不要不急の言葉が耳に届くことにも自問を求められ、閉塞感を感ずる中、トコエは、

2021年は、新しい生活様式の中で、創業工夫、臨機応変に、前向きな言葉をひとつも聞けられないように、一言ひとつを大切にしたいと願っています。

区民施設管理 (介護福祉士) 赤羽根 進



きずな

深い共感をもって子どもたちの成長を見守る

2021年に只を入れたことは、「笑顔あふれる字書」を目標し、職員が楽しみながら子どもたちと遊びたいと。

昨年はコロナウイルスの影響で、行事や外出が中止になってしまいました。子どもたちは施設内で工夫して遊ぶことを余儀なくされ、字書では消費や紙を離しての行事・おやつなどの放棄をしていただくため、子どもたちにとっては少し窮屈に感じているかもしれません。

その中で、運動会を準備したり、外で目一杯遊んだり、一歩踏み出す勇気を促している子どもたちを思うと心がなぐさめられることが多いです。

2021年は今年目標として遊びを通して子どもたちに「楽しさ」を提供できると、もちろん環境づくりや遊び方の工夫をしていきたいと思っています。子どもたちにはまた新しい笑顔と

返事もあつ、希望を背負って未来に向かって欲しいと願っています。

少年指導員 (社会福祉士) 中村 綾花



しらとり

今年こそはすてきな思い出を作りましょう

2020年はコロナの影響でコロナと戦った年でした。いろいろな事をしてきた行事はほぼ中止になり、静かに日々が流れていってなごに感じました。安全に生活出来ることを第一と考える、コロナ感染予防には何かが必要かというところが先に立ち、行事の代わりに出来るものを考えようと思ってきました。

そんな中、何故か距離としてお弁当を頂くことになりました。いろいろな機会を設けてメニューの中から選んでもらう、お皿割に子供メニューをします。10月の日には少しお楽しんでもらおうと入浴の作業をした職員が居りました。

2021年は

子どもたちに何が出来たのかを振り返り、母や子どもたちにとって思い出に残るものを作りたいと考えています。

心理担当 (公認心理士) 岡野 悠子



あさひ苑

遠くまで近くまで

昨年の年明けから考えると、想像より良かった世界の中で暮らしてまいりました。自身の生活だけでなく、この仕事に携わる者として、今まで当たり前に行ってきた援助方法も考えられる機会になりました。

ご利用者、職員同士を問わず、相手への共感を示すために言葉を遣う事、不安を感じる方に寄り添う事。それら、マスクや消毒液を通してなかなか行えなくなりました。物理的な距離を相手と取りつらくなればはたらけなくなるのではと懸念していました。そんな状況下でも、相手の心の距離がなごらぬ、寄り添うにはどうしたらいいのかな。あさひ苑職員一人一人が考えなければなりません。

ケアマネジャー (介護支援専門員) 江國 岳



緑苑

また、地域のみなさまと一緒に

緑苑は老人ホームとして多くは生活街の真ん中に位置してしまっており、近所の方々との相互の関わりは総じて乏しくなっています。

地域会館の防災訓練には、自治会や婦人会の皆様にも毎年協力いただいております。前回の区民会館での設備から参加していただき、職員も職員も関わりしています。

ところがコロナ禍で地域会館防災訓練はこれまでお休みです。職員だけでなく利用者もそれぞれ残念な気持ちでいっぱいです。

私も、昨年の夏まつりに参加同会をさせていただきました。地域の皆様、ご利用者も職員もみなで盛り込んで楽しんでいただき、とても思い出に残っています。

今年こそ、全ての行事と共に行い、少しでも地域の方々と一緒に笑顔で楽しみたいと思っています。

特養介護員 (介護福祉士) 梶原 愛実



ボランティア紹介 ～ かんだ連雀 ～

かんだ連雀には『アース製薬』のみなさんによる少し珍しいボランティア活動があります。

昨今、社会貢献としてボランティア活動に力を入れている企業が増えました。しかし、企業としてボランティアしたい内容や時間と、社会福祉施設等が求めるボランティアの内容や時間が合わず、お互いのニーズ、強みを発揮できない現状があります。

千代田区社会福祉協議会にいくつかの企業から相談があり、『かんだ連雀で何か方法がないですか?』と相談があったのが最初のきっかけです。

かんだ連雀でも、もともとボランティアに参加してくださる方を増やしたい!!という思いがありました。アース製薬さん・千代田区社会福祉協議会・かんだ連雀とで話し合い、かんだ連雀の地域活動『すみれ会』の広報をお手伝いいただく

事になりました。

そして、アース製薬経営戦略部の強みを生かしたボランティア活動『すみれ会』のコンセプトブックを作成中です。すみれ色のすてきなパンフレットは私たちにはできないグレードです。これからもいろいろなお力とコラボしていききたいと思えます。

(かんだ連雀

センター長 峯俊美)



▲アース製薬経営戦略部に作成いただいたすみれ会コンセプトブックの一部

御寄贈・御寄付 ありがとうございます

掲載を可とされた方のみのお名前です。
敬称を省略させていただきます

- 株式会社アビック母と子の集い事務局 国際ソロプチ ミストあきる野 株式会社包む 寺西真知子 殿塚みどり 永井よし子 仲間季代 株式会社庭商店 特定非営利活動法人ピースウィングズ・ジャパン 株式会社秀匠

(2020年9月) 2020年11月

ボランティアの御協力 ありがとうございます

敬称を省略させていただきます

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年2月よりボランティア活動のほとんどを中止いただいています。

- 北村よし子 高倉祥子 松本孝宜 村井福子

(2020年9月) 2020年11月

編集後記

2021年のわたしは
何をしようか?

人の縁を大切にしながら、健康も維持したいと願っています。
(泉苑 南佳代)

旅に出たいです。車でも電車でも自転車でも。
(泉苑 石川愛)

2021年の2月に社会福祉士国家試験を受験します。今は勉強中です。絶対合格!
(あさひ 櫻井拓磨)

昨年全てキャンセルになってしまった、キャンプ、BBQ、忘年会を子供達と兄家族と楽しくやりたいです。
(あさひ 田中愛)

3月で末の息子が社会人となり、秋の子育ても一応卒業を迎えます。少し出来る自分の時間を大切に過ごそうと思えます。
(緑苑 平岡貴弘)

今年は健康診断で引っかかるないように節制しないと。
(かんだ連雀 伊藤裕太)

今年こそはしっかりと勉強して資格を取得したいです。
(岩本 松本幸二郎)

知識、人柄等も含めて「自分磨き」を頑張りたいなあと思っています。
(きずな 高橋風子)

「人生でやりたい事リスト100」を作成中です。2021年の私は、いくつ叶える事ができるでしょうか。ワクワク!
(しらとり 吉田智咲)

自粛生活で出来なかった、旅行・BBQ・友達との食へ歩き:楽しいことでリフレッシュできたらいなと思います。
(たっち 齋藤絵里)

昨年行けなかった旅行やコンサートなど、たくさん我慢した分、子どもたちと思いつき楽しみたいです。
(事務局 井坪香織)

子どもたちと共に勉強しながら、中断しているかつての目標に向けた挑戦を再開したいです。
(事務局 青木志乃)

「人生は冒険だ。地図はないけれど」という歌が大好きです。今年は自分の地図を作りなおす予定です。
(編集長 上野廣美)

介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

- 泉苑 老後支援 24時間
0120-6540-24
- あさひ苑 福祉にっこり 24時間
0120-2942-24



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

